

平成27年度 一般会計予算部局別要求ポイント

部局名称	農林水産環境部
------	---------

(単位：千円)

項目名	区分	概要	平成27年度 予算要求額	平成26年度 現計予算額	所管課
京丹後米ブランド対策	継続	安全・安心で美味しい米づくりによる水田農業の推進と丹後産コシヒカリの特A産地維持のための団地化推進や分析機等の支援を行う。	6,300程度	6,250	農政課
認定農業者対策	継続	地域農業の担い手である認定農業者の育成、確保のため機械等の支援を行う。	3,000程度	3,200	農政課
海業の推進	拡充	魚食の普及や水産物のPR及び販路拡大、海業の推進を支援するため、海業体験等に取り組む団体や水産イベントに対して補助金を交付する。また、漁村の活性化を図るため、ダイビングスポットとしての調査研究を行う。	1,700程度	1,390	海業水産課
生ごみ資源化事業	継続	生ごみ資源化の取り組み地区を拡大し、1,000世帯で実施とするための経費を計上するほか、取り組みの普及拡大に向け、生ごみ分別指導に加え、ごみの減量のための4Rの推進、環境学習など、普及啓発活動業務を委託実施するもの。	7,900程度	17,297	環境バイオマス推進課
有害鳥獣対策	継続	有害鳥獣を捕獲することで、農作物被害、営農意欲の低下、人身への被害を未然に防止する。また、狩猟免許取得等の補助により、捕獲員の確保を図る。	90,600程度	83,686	農林整備課
電気自動車充電ステーション 太陽光発電・蓄電設備整備	新規	電気自動車充電器の整備にあわせ、補助電源及び非常用電源となる小規模太陽光発電設備を整備するもの	59,200程度	0	環境バイオマス推進課
新規就農対策	継続	京丹后市と京都府が共同で取り組む丹後農業実践型学舎事業を推進するため農業研修条件の整備を行う。	9,700程度	924	農政課

平成27年度 一般会計予算部局別要求ポイント

部局名称	農林水産環境部
------	---------

(単位：千円)

項目名	区分	概要	平成27年度 予算要求額	平成26年度 現計予算額	所管課
有害鳥獣対策	継続	サル追い払い対策の強化及びサル個体調整捕獲を実施し、農作物や人身被害の拡大を防止する。	11,100程度	10,966	農林整備課
水産基盤ストックマネジメント事業	新規	漁港施設の長寿命化と更新コストの縮減を図るために実施する事業で、平成27年度は浜詰漁港の漂砂調査、間人漁港では防波堤の欠損箇所を修繕するための測量設計を実施する。	24,600程度	0	海業水産課
ほ場整備事業	継続	久美浜町女布地区のほ場の大区画化と用水機、用水路等の改修を実施し、営農労力の節減を図り、収益性の高い農業経営の実現を目指す。	28,900程度	10,325	農林整備課
農産物加工対策	継続	市内農林水産物を活用した加工品等の開発販売など農家所得の向上を支援する。耕作放棄地解消や新たな特産品の取組としてそばの栽培実証に取り組む。	1,400程度	1,763	農政課
再生可能エネルギー導入促進 支援補助金	継続	自然エネルギーと社会・産業基盤の好循環を形成し、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、再生可能エネルギーを利用したシステムの設置等に要する費用を対象として補助金を交付するもの	3,000程度	5,600	環境バイオマス推進課
森林整備対策	継続	市行造林地における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図るため、計画的な保育施業を実施する。また、市行造林地での生育状況を把握するための調査を実施する。	15,900程度	15,000	農林整備課
農地流動化対策	継続	地域農業の担い手等に農地の集積を図り規模拡大等により農業経営の安定を図るため支援を行う。	60,600程度	14,098	農政課

平成27年度 一般会計予算部局別要求ポイント

部局名称	農林水産環境部
------	---------

(単位：千円)

項目名	区分	概要	平成27年度 予算要求額	平成26年度 現計予算額	所管課
分散型エネルギーインフラ導入可能性調査事業	新規	地域で創った電気エネルギーの地産地消による地域活性化を目指すことを目的に、必要なインフラの整理、地域への経済波及効果等について調査事業を実施するもの	3,000程度	0	環境バイオマス推進課
日本型直接支払対策	拡充	地域共同による農地の資源管理や営農活動を支線し、農業の多面的機能を発揮するとともに、担い手の規模拡大の後押しをする。	265,700程度	67,091	農林整備課
農村対策	継続	里の人づくり事業地区において地域課題解決のための事業等実施し支援を行う	25,600程度	57,870	農政課
漁港の整備	継続	漁港施設機能の保全、漁業活動における安全性の確保、利用の効率化等を図るため、漁港施設等の補修や点検を実施する。	19,200程度	12,861	海業水産課
地域バイオマス利活用事業	拡充	地域バイオマスの更なる資源化を進めるため、下水汚泥を実際に乾燥し資源としての性状及び、その過程で発生するガスの分析など事業化へ向けた研究を行うもの	2,600程度	289	環境バイオマス推進課